

都市再生整備計画 フォローアップ報告書  
戸畑地区

平成29年12月

福岡県北九州市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	地域交流スペース講座等実施数	件	0	50	68	確定 ●	○	あり -				<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	従前基準年度のH21年度には地域住民の学習活動やコミュニティ活動の場が十分に無かったが、地域交流スペースを設けることにより、住民の相互交流が行えるようになり、地域活性化の拠点として文化・交流等の都市活動・コミュニティ活動を支える中核的な施設として活かされた。
指標2	図書館利用者数	人	71,923	104,758	140,459	確定 ●	○	あり -				<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	旧図書館には無かったエレベータの設置等によるバリアフリー化、一般図書室および児童室の拡充、駐車場台数の増加など、障がい者、子ども、高齢者などにも使いやすいこと、閲覧席数が122席から225席に増加したことなどにより、利用者数が増加したと考えられる。
指標3	利用者満足度	%	50	80	94.4	確定 ●	○	あり -				<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	旧図書館に比べて施設や駐車場面積等が広がったこと、児童室の整備やエレベータ設置などによる利用者の特性に配慮した点などから図書館の使いやすさに関して高い評価を得ることができた。また、84.7%の方が図書館へのアクセス、駐車場に関して満足しているという回答を得ることができ、図書館周辺の道路整備による効果があったと言える。
指標4	スポーツ施設利用者数	人	約140,000	約190,000	264,000	確定 ●	○	あり -	288,000	平成29年9月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	戸畑区内の老朽化したスポーツ施設が集約、新設され、また、戸畑駅やバス停に近く、周辺道路の整備や駐車場も十分に整備されたことにより、施設へのアクセスが向上したことから、利用者数が増加した。
指標5	大規模予定避難所数	箇所	0	1	1	確定 ●	○	あり -				<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	浅生スポーツセンターを大規模予定避難所として機能する設備を整備することによって、北九州市地域防災計画の中で大規模予定避難所に指定された。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1						確定 ●						<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標2						確定 ●						<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

## 2. 今後のまちづくり方策の検証

### 様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	賑わいの創出	本の貸し出し以外にも、文化講演会や戸畑図書館秋祭りと称した催し物を開催したり、地元商店街と協働で蚤の市を企画・実施するなど、地元の賑わい創りに積極的に参加した。	様々な分野の団体と協力して積極的に図書館を活用し、地域と一体となった活動を展開することが出来た。	協働事業を実施する相手団体の裾野を広げて図書館利用者を増やししながら、今後も地元の賑わい創りに貢献していく。
	地域の活性化	積極的なスポーツ大会誘致を行い、利用者増加に努めた。ホームページ、新聞、TV取材、市政だより、フリーペーパー、地元回覧板様々な広報媒体を適切に利用した、広報活動の実施。地域の方への説明会や見学会、花壇の植栽や植え替え事業を行い、施設のPRに努めた。	利用者数は288,000人となり、目標利用者数190,000人を大きく上回った。スポーツ大会等の積極的な誘致を行い、84もの大会の開催に繋がった。戸畑のまちづくりの一環として、地域(自治会やまちづくり協議会)の方々を招き、協働で定期的な花壇の植栽や植え替えを行い、地域の活性化に寄与する結果となった。	引き続き、スポーツ大会の誘致、広報活動、地元との協働事業を行いたい。
	安全で安心な生活環境	災害時の大規模予定避難所であることをホームページでPR、施設に看板を設置することで市民へのPRを行った。災害時に機能できるように、施設利用者には、事前に避難経路(非常口)の確認や災害発生時には職員の誘導に従うことなどの指導を徹底した。各種災害・非常時訓練をおこなった。(火災発生時を想定した避難訓練プールにておぼれた方を想定した救助訓練。消防署と連携し、消防車等を使った本格的な消防訓練。AED等を使った救命講習等)	市民に、災害時の予定避難所であることを周知し、避難訓練等を行うことで、安全で安心な生活環境の提供に繋がる結果となった。	引き続き、災害時の大規模予定避難所として、広く市民に周知するとともに、災害時に機能できるように、避難訓練等を実施する。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	賑わいの創出及び地域の活性化のため、地域住民との協働事業	スポーツ大会の積極的な誘致の継続。スポーツ施設に関する地域自治会への説明会や見学会を実施。地域の方々を招き、協働で定期的な花壇の植栽や植え替え事業を実施。近隣市民センターでの花壇植え替えや花壇づくり講習会等を実施。図書館を活用した各種イベントや講座等の実施。	スポーツ大会の誘致を行い、施設を有効に活用するとともに、地元の方々と定期的な協働事業を通じ、地域活性化やまちづくりに貢献した。日本固有のあやめの1新変種である「戸畑あやめ」を地元と連携して施設花壇に植栽し、シビックプライドの醸成に寄与した。図書館を活用したイベントや講座を実施することで、繰り返し図書館を利用する方に加え、普段図書館に來ない方の呼び込みにつなげることができた。	引き続き、地元との協働事業を通じまちづくりを進めたい。
	来訪者の移動円滑化および周辺への回遊性の向上	案内標識を設置したほか、障がい者の方々と一緒に道路のバリアフリー点検を実施し、視覚障がい者誘導ブロックなどの改善を実施。	・歩行空間の移動円滑化および回遊性が向上した。	・今後も障がい者団体や地域の方々と協働し、高齢者や障がい者など誰もが円滑に移動できる環境を推進するとともに、周辺への回遊性の向上に努める。
	防災機能等の周知	市のホームページ、施設への看板設置等で市民へ周知。避難時のマニュアル等の整備。	災害時の予定避難所であることを周知することができた。	引き続き、市ホームページや施設ホームページ、パンフレット等を利用して、市民への周知を図る。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

### 様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	賑わいの創出	図書館の利用者数・満足度を確保しながら、地域交流スペースの有効活用によって、まちの賑わいを創出する。	・講座や展示の誘致 ・広報活動
	地域の活性化	スポーツ施設の利用者の増加促進によって、市民の健康増進、スポーツ大会等の開催による地域の活性化を促進する。	・スポーツ大会等の誘致 ・広報活動
	安全で安心な生活環境	災害時の大規模予定避難所として、広く市民に周知するとともに、災害時に機能できるように、避難訓練等を実施する。	・避難訓練の実施 ・広報活動

B欄 改善策 ・未達成の目標を 達成するための改善策 ・未解決の課題を 解消するための改善策 ・新たに発生した課題に 対する改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	賑わいの創出及び地域の活性化のため、 地域住民との協働事業	地域のうおい創出のため、施設の主目的の利用のみならず、副次的利用の幅を広げ、地域住民と協力しながらまちづくりを進める。(例: 図書館で講座を受ける、展示を見る、スポーツ施設内の花壇で様々な花の栽培を行うなど)。また、施設集約による旧施設の再利用、跡地利用については、地区に調和した再利用を検討する。	・施設内花壇で花植え活動、維持管理 ・栽培技術に詳しい指定管理者による花の育て方の技術指導 ・周辺住民との協働による跡地利用の検討
	来訪者の移動円滑化 および周辺への回遊性の向上	高齢者や障害者など誰もが円滑に移動できる環境を整えるとともに、周辺への回遊性を向上させるわかりやすい案内標識や歩行者サインを設置する。また、駐車場を有効かつ円滑に活用できるよう長時間駐車に対する見回り指導等を行う。	・案内標識、歩行者系サインの設置 ・視覚障害者誘導ブロックの改善 ・駐車場の見回り指導等
	防災機能等の周知	災害時の予定避難所として活用するためには、市民への周知が重要になってくる。このため、市政だよりや市のホームページ等で市民への周知を図るとともに避難時のマニュアル等の整備を行う。	・市政だよりや市のホームページ等で市民へ周知 ・避難時のマニュアル等の整備

フォローアップ又は次期計画等  
において実施する改善策  
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
●	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
●	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
●	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

- ・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
- ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値			目標達成度	1年以内の達成見込みの有無	
				年度		年度						
指標1	地域交流スペース講座等実施数	件	0	H21	50	H27	確定	●	68	○	あり	-
							見込み				なし	-
指標2	図書館利用者数	人	71,923	H21	104,758	H27	確定	●	140,459	○	あり	-
							見込み				なし	-
指標3	利用者満足度	%	50	H23	80	H27	確定	●	94.4	○	あり	-
							見込み				なし	-
指標4	スポーツ施設利用者数	人	140,000	H23	190,000	H27	確定		264,000	○	あり	-
							見込み	●			なし	-
指標5	大規模予定避難所数	箇所	0	H23	1	H27	確定	●	1	○	あり	-
							見込み				なし	-

フォローアップ計画		
予定時期	計測方法	その他特記事項
平成29年9月	平成28年9月から平成29年8月末までの1年間の利用者数を計測し、確定値とする。	